



特別講演会

福岡の‘むかし’と‘ミライ’

福岡は古来より、大陸との交易や侵略の歴史を持っています。大和朝廷の時代には、大宰府に政庁が置かれ、外交・貿易の拠点としての役割を担っていきます。今、福岡は九州の玄関口としての役割もあり、福岡市は主要な天神地区、博多地区を中心に大きな変革を遂げようとしており、街が大きく変わりつつあります。

特別講演では、福岡の成り立ちを歴史的にみるとともに、これからの福岡のまちづくりがどのように進んでいくのか、お二人の講演者の方々にお話しいただきます。

■「福岡の成り立ちと歴史」 16:25～16:50

講演者：福岡市 経済観光文化局 文化財活用部
埋蔵文化財課 本田 浩二郎 氏

内 容：福岡市の地形の成り立ちを湾岸の砂丘遺跡の成長から説明し、あわせて福岡の考古学的な歴史を概観します。



■「都心部のまちづくり」16:55～17:20

講演者：福岡市 住宅都市局 都心創生部
都心事業推進課 野村 哲裕 氏

内 容：天神ビッグバンなどによる都心部のまちづくりの取り組みや制度などについて説明します。

